

施策番号	2002		
施策名	歩く魅力を最大限に味わえるような歩行者優先のまちづくり		
概要	歩行者と公共交通を最優先とする快適な道路空間を構築するとともに、通過交通の抑制、物流対策、駐車場施策、パークアンドライドなどの適切な自動車利用の抑制策を推進する。		
担当局・部室	都市計画局・歩くまち京都推進室	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関する主な分野別計画等	「歩くまち・京都」総合交通戦略		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1	パークアンドライドの利用者満足度(%)	-	a	86.6	98	97.6	100.4%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
			a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1	歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている。	94	261	136	44	24	559	b
		16.8%	46.7%	24.3%	7.9%	4.3%		
2	まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている。	13	70	180	143	129	535	d
		2.4%	13.1%	33.6%	26.7%	24.1%		
3	-							-
4	-							-
5	-							-
							市民生活実感調査総合評価	c



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					23 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 市民の生活実感に施策の効果がすぐ反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。						年度	-
(原因分析) ・「パークアンドライドの利用者満足度」は、京都南エリアでの東福寺シャトルの輸送力向上や、新たに京都西エリアを開設したことにより、95%を超える方が「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答されたと考えられ、客観指標評価はa評価となった。 ・自動車による渋滞が減っているという設問に対しては、否定的な方が5割程度あるものの、歩いてこそ魅力が感じられるまちとなっているという設問に対しては、6割を超える方が肯定的な回答となっていることから、「歩くまち・京都」の取組については一定浸透してきていると考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	華やぎ支援事業	416,740	422,941	かなり良い	行財政局
2	放置自動車対策	78,569	79,915	かなり良い	建設局
3	看板等路上物件適正化事業	56,085	58,775	良い	建設局
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・今後も、パークアンドライドをはじめ自動車利用の抑制策や、都心細街路における安全でゆとりのある歩行者空間の確保に向けた取組など、ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けて、都市計画をはじめ、環境、福祉、教育、景観、産業などの幅広い分野の政策と融合した取組を進める。

施策名	2002	歩く魅力を最大限に味わえるような歩行者優先のまちづくり
-----	------	-----------------------------

指標名	パークアンドライドの利用者満足度(%)
-----	---------------------

担当課	歩くまち京都推進室	連絡先	2 2 2 - 3 4 8 3
-----	-----------	-----	-----------------

1 指標の説明

パークアンドライドの利用者アンケート調査における「満足している」及び「どちらかといえば満足している」とする回答の割合

2 指標の意味

パークアンドライドの利用者の満足度を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	86.6	98.0	11.4ポイント増	97.6	過去最高値（平成19年度）	100.4%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	今後、「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進体制の一つである「歩くまち・京都」推進会議の議論を踏まえて、指標の検討を行う
----	---

5 評価基準

パークアンドライド利用者アンケート調査において「満足している」及び「どちらかといえば満足している」と回答した割合について、単年度目標値の達成度が
a : 100%以上
b : 80%以上100%未満
c : 60%以上80%未満
d : 40%以上60%未満
e : 40%未満

6 基準説明

「満足している」及び「どちらかといえば満足している」と回答した割合について、単年度目標値の達成度が100%以上の場合を最高のaとし、以下20%刻みで設定した。
<参考>
17年度：96.0% 18年度：96.7%
19年度：97.6% 20年度：96.1%
21年度：97.5% 22年度：86.6%

7 評価結果

	23	24
-	a	a